

特集 その後どのように暮らしていますか？

# 木々を望み デッキで近所とつながる家





特集 その後どのように暮らしていますか？

# 木々を望みデッキで近所とつながる家

ソーラータウン八国山(東京都東村山市) | 木造ドミノ住宅 | H邸(ご夫婦+お子様1人)



1

初めてソーラータウン八国山を訪れた春の頃

## ストーリー

今回ご紹介するのは、当社が分譲するソーラータウン八国山の一角に佇むH様邸。ご夫婦と娘さんの3人でお住まいです。持ち家からの住み替えで、娘さんの小学校入学に間に合うようにと、建売を探されていました。「家に入った時の雰囲気や開放感が良かったんです。別の場所にあっても決めていたくらい」と笑う奥様。無垢のフローリングや和紙などの自然素材と、陽に包まれる心地良さから即決されたそう。ただそれまで八国山がある東村山を訪れたことはなく、職場が遠くなるのがネックでした。それでも「山が見える街並みがいいなと思って」とご主人。アウトドアが趣味ということもあり、田舎暮らしも考えたものの、仕事など現実的なことを考えると、東村山がちょうど良かったと振り返ります。近所には娘さんと同年代の子どもがたくさん。街区内の道路にチョークで絵を描いたり自転車に乗ったり、娘さんもこちらの暮らしに満足している様子です。日々どのように過ごされているのか、休日の過ごし方や住まいの見どころなどを伺いました。



木張りの外壁が印象的なソーラータウン八国山の一角



小さな自転車の足元にはかわいらしいチョークの落書き



子どもたちの笑い声が街に活気を与えてくれる



## 2 陽が降り注ぐ 2階LDK



1

1.2.キッチンの棚は入居前に増設。窓前が奥様の作業スペースです。3.ご夫婦で選んだ雰囲気のある照明が食卓を照らします。4.キッチンからの眺め。屋根裏収納のお陰で空間がスッキリ。

2

3

4



「特に2階のLDKからの眺めが気に入りました」と奥様が教えてくださった通り、大きな窓からは脇を流れる北川沿いの木々が見え、室内でも川のせせらぎが聞こえます。家具はすべてお手持ちだったものですが、この空間に合わせて選んだかのよう。優しい木の素材感とマッチしています。水廻り

も2階にあり、洗濯が終わったら日当たりのいいバルコニーへ一直線です。以前の住まいは水廻りが1階、物干し場3階と離れていて「階段の上り下りが大変だったんです」とご主人。家事動線が短くなったのも良かったと言います。キッチンの小窓からは、前面道路で遊ぶ娘さんたちの姿が見えます。

「以前は家の周りで遊べる場所がなく、休日になると子どもを連れて出掛けていましたが、この家に住んでから遠出しなくなりました」と奥様。

取材時は入居から2ヶ月ほどでしたが、ソーラータウン八国山での暮らしにすっかり溶け込んでいく様子でした。





### 3 住まいのみどころ



1.3.4.外が気持ちいい季節には、イスとテーブルを出してランチをとることも。2.近所のお友だちが気軽に集まれる場所です。



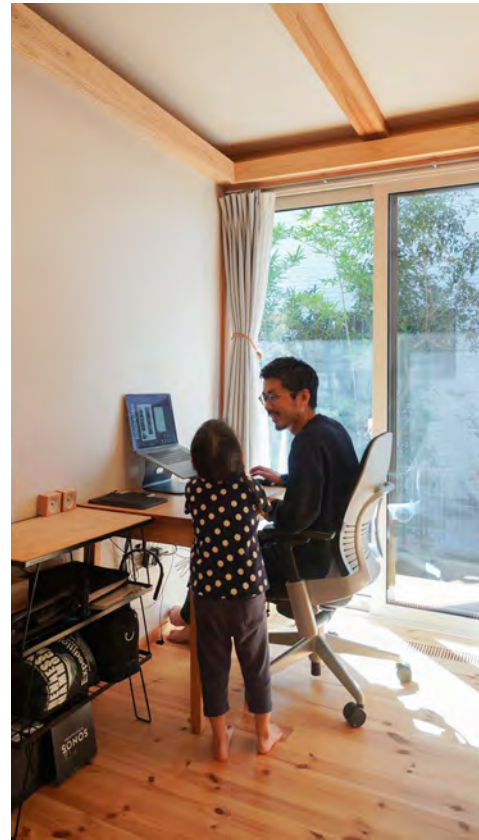
## 家の中と外をつなぐ デッキと縁側

暮らしの変化を伺うと「娘の休日の過ごし方がすごく変わりました」と奥様。動画を見る時間が減り、デッキや家の前で遊ぶ時間が増えたそう。大人たちも縁側に腰掛けて雑談したりビールを飲んだり、デッキのある暮らしを満喫していらっしゃいます。

## ライフステージに 合わせられる間取り



1階は入居前、がらんどうでしたが、壁を設けて寝室をつくりました。「建売だけど、壁が仕切られてなくて注文住宅に近い感じがよかったです」とご主人。現在フリースペースとして広々とお使いの空間も間仕切りが可能で、後々は娘さんの部屋もつくる予定です。



1.2.一角に設けられたご主人の職場。3.娘さんの遊び場とは本棚でゆるく仕切っています。4.陽だまりができる窓前にはOMソーラーの床吹き出し口があり、冬場も暖か。



## 取材後記

ソーラータウン八国山に着くと、外で遊んでいた子どもたちが大きな声で挨拶をしてくれました。H様ご一家が引っ越してすぐに八国山ソーラータウンの方が花火大会を開催してくれたというエピソードも素敵です。ほのぼのとしたひと時をありがとうございました！（記：ライター大川）



設計・施工：相羽建設  
撮影取材・編集：伊藤・大川・猪股  
ainohaバックナンバー <http://aiboeco.co.jp/100story/life/>





特集 その後どのように暮らしていますか？

## まちに開く豊かな居場所



特集 その後どのように暮らしていますか？

# じっくり育む、まちと暮らし

ソーラータウン西所沢(埼玉県所沢市) | 木造一戸建て(建築家と建てる家) | 布施邸(ご夫婦)



建築家 田中敏博さんが手掛けるまちづくり

1

## ストーリー

緑あふれる長閑な街並みの中で、時折聞こえてくる子どもたちの楽しそうな遊び声。ここは全22棟の家が建ち並ぶ、相羽建設の分譲地「ソーラータウン西所沢」。この街に住みはじめて3年目になる相羽建設のスタッフでもある布施夫妻に、家づくりのきっかけと現在の暮らしぶりについて伺いました。

「みんなで"共生する"という住居のあり方に興味を持っていた」という順さん<sup>ともこ</sup>と朝子さん。しかし理想の環境はなかなか見つからずあきらめかけていた時、偶然チラシで見つけたつむじモデルハウスに出かけました。「対応してくれたスタッフの照美さんに共生のことを話したら、『向こう三軒両隣』をテーマにしたソーラータウン西所沢を紹介してもらったんです。お話を伺ったタウンの住まい手さんが家の中を案内してくれたり、BBQに招待してくれたり……その懐の深さやお互い様で暮らしている心の豊かさに惹かれて、すぐにここに暮らすことを決めました」と朝子さん。





## 2 人が集う 暮らしのへそ



- 1
- 2
- 3
- 4

1.床はカラマツ、壁は薩摩中霧島壁の2階リビング。2.おしゃれな手料理。3.コーヒーを入れる時間は至福のひととき。4.夫婦で料理を楽しむようにキッチンが広めに設計。



2階リビング

▲ 木のダイニングテーブルとの色合いが映えるリビング。照明はOtani Yoshiko Glass。

2階リビングの中心にある一枚板のテーブルは、脚をたおせば座卓にもなり大人数で食卓を囲むこともできる二人のお気に入り家具。「リビングは夫婦だけではなく、5〜6人がいるイメージで空間づくりを考えました。お互いに人を招いて食事をしながら会話を楽しむ時間がとても好きなので

と順さん。小上がりの畳スペースも大勢が来た時にはベンチがわりになり、椅子に座っている人と視線の高さを変えずにお喋りできるのが嬉しいところ。このテーブルを中心に広がる豊かな暮らしの時間。また、現在つむじモデルハウススタッフとしても活躍し、本誌の「つむじ通信(P.17)」では、

自邸のDIYやお手入れのコラムを連載中の朝子さん。「自分の家だからこそ細工したり和紙を貼ったりできるし、手をかければちゃんとこたえてくれる自然素材というのが、今までの賃貸生活からの大きな変化です。今の仕事にも活かされて、誰かの役に立てるのが嬉しいです」とニコリ。



### 3 住まいのみどころ



柿渋染の和紙を市松模様に貼った壁

和紙左官を施したガラス戸



1.アトリエスペース。2.朝子さんのお父様が作られた木彫案内看板。3.ギャラリーのようなゆったりとした玄関土間。4.和紙を使った空間づくりを手がける朝子さん。



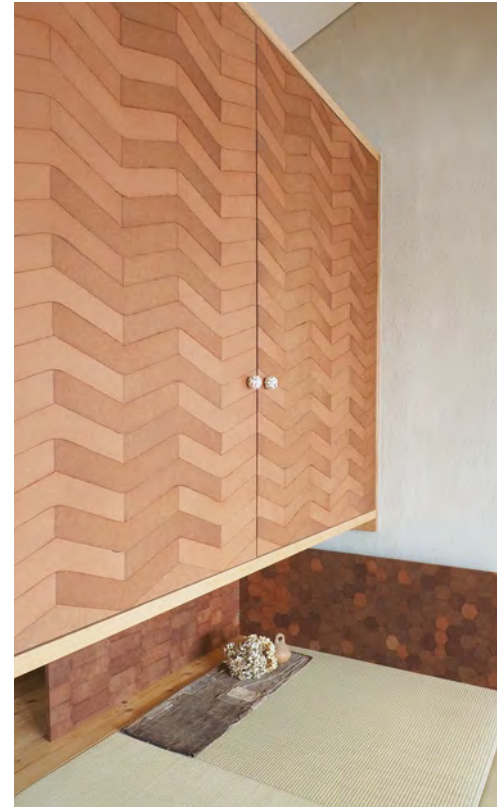
### ▲ 住みびらく アトリエ

和紙作家(Lasen)としても活動している朝子さん。街に面した一室をアトリエとして使っています。「道ゆくご近所さんたちにも楽しんでもらえるように、いずれはアトリエでの制作風景がこのタウンの日常になったら良いなと思っています」とお話しくださいました。

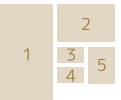
### 暮らしを彩る 作家さんの作品



自身が施工した和紙での空間づくりはもちろん、家の中にはたくさんの作家さんたちによる作品があり、それぞれが暮らしのアクセントになっていました。素材や色の組み合わせによって見た目の印象も素敵に変わり、手をかける楽しみも伝わってきます。



1.朝子さんによる柿渋和紙張りの開き戸と風炉先屏風。2,3.a-wood富沢麻子さんの照明と木彫つまみ。4.森本秀樹さんの街並みを描いた水彩。5.hyacka岡林厚志さんの珈琲カウンターとペンダントライト。



### 取材後記

右の写真は「建て方」の日に2階に上がって大工さんたちと撮ったもの。「私たちの大切な思い出の一枚です」と笑顔で振り返るご夫妻。いろんな人たちが関わってできあがる家というのは、その思い出も含めてご家族にとっての一生の宝物だなあと感じます。素敵な暮らしぶりに心があたたまった一日でした。(記:吉川)

設計・施工:田中敏博建築設計事務所・相羽建設  
撮影取材・編集:伊藤・吉川・猪股  
ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>







特集 その後どのように暮らしていますか？

## 薪ストーブと庭を楽しむ暮らし



特集 その後どのように暮らしていますか？

# 薪ストーブと庭を楽しむ暮らし

ソーラータウン多摩湖町(東村山市) | 木造一戸建て(建築家と建てる家) | F邸(ご夫婦+お子様2人)



1

## ストーリー

今回ご紹介するのは、ソーラータウン多摩湖町に住んで5年が経つ、4人家族のF様の暮らし。家づくりのキッカケや現在の暮らしぶりについてお話を伺いました。

以前賃貸に住んでいた頃は家の中がとても寒く、「あったかい家に住みたい——」そう思っていたというF様ご夫婦。さらにお子様を外で安心して遊べるような環境や庭仕事ができるスペースなど、「こんな家にしたいなあ」と家づくりへの想いは日々膨らんでいきました。

※  
そんなある日、OMソーラーが紹介された雑誌を見て、相羽建設を知ったそうです。

「このソーラータウン多摩湖町では薪ストーブのある暮らしが提案されていて、薪ストーブにずっと憧れていたことや、家の境界に壁や塀などの仕切りがなく庭が広々とした様子も気に入って、家づくりをお願いすることにしたんです」と当時を振り返るF様。





## 2

### あったかい時間

ソーラータウン多摩湖町の街並みやプラン設計を担当した建築家の強谷陽さん(スネアヤキラ建築設計室)とも打ち合わせを重ね、イメージを徐々に形にしていきました。「家の真ん中にキッチンを設置した回遊性のある動線」、「何かと便利な量の小上がりスペース」、「朝早く夜遅い共働き夫婦のための足音が気にならない工夫」など、F様のご要望と強谷さんの設計アイデア、そして職人さんの手仕事が結晶して完成した、家族がゆったりと過ごせる自然素材の家。「この家に暮らしはじめて感じたのは『あったかい!』でした。無垢の杉材の床は裸足で過ごすのも気持ちいんです。あと心なしか肌の調子も良いんですよ」と笑顔の奥様。薪ストーブの上に吹き抜けをつくり2階とつなげているので、炎のじんわりとした熱が家全体をやさしく暖めてくれます。この日は薪ストーブを使った、お手製ホットケーキやシチューも作られていました。ゆっくりとした休日に家族と一緒に楽しむ、あったかい時間。



1



2



3



4



5



奥様が制作した模型

1: 吹き抜けのある1階リビング。2: 家の中心となるキッチン。3: 手作りホットケーキ。4: 色彩豊かなギャベの絨毯。5: DIY塗装した2階廊下の壁。奥は子ども部屋。





特集 その後どのように暮らしていますか？

# のびのび暮らせるゆったり空間





特集 その後どのように暮らしていますか？

## のびのび暮らせるゆったり空間

ソーラータウン多摩湖町(東村山市) | 木造一戸建て | H邸(ご夫婦+お子様2人)

### 1 ストーリー

今回訪ねたのは、ソーラータウン多摩湖町のお住まい。仲良し家族のH様ご夫婦と子ども達が笑顔で迎えて下さいました。以前は都内の社宅で暮らしていたというH様。「長女が小学校に上がる前までには家を建てたいと思っていたんですよ。

あと、社宅では子どもたちが家の中で遊ぶのに、ちょっと周りに気を使っていたこともあって、せっかくなら元気に走り回れるような広い家にしよう!って」。そこから家探しは始まり、ちょうどタイミングよく見つけたのがこの場所だったそうです。



お隣の家との境目にある  
お手製の共有ビザ窯



## 2

### ゆとりのある暮らし

見ているこちらにも笑顔になるくらい、広々とした1階リビングで元気にかけまわる姉妹たち。「家の素材や環境もあってか、この家に住んでから、子どもも僕らも体調を崩さなくなったんですよ。それに庭の緑の芽吹きに気付いたり、季節の変化もより身近に感じるようになりました」。庭に目を移すと、一面にきれいなグリーンの芝生が広がり、お隣の家まで続いていました。ソーラータウン多摩湖町は家同士の間仕切りが無い分、ゆったりとした敷地が特徴の街。「周りの家族も歳の近い子どもが多くて、こういう開放的な環境で暮らしているので、みなさん近い価値観なのではないかと思っています。子ども達には『タウンの中で自由に遊んでいいよ、でも勝手に他の家の敷地に入るのはやめようね、きちんと挨拶しようね!』ってちゃんとマナーも教えて」とH様。気付けば家の中にいた子ども達は、近所の子たちと外で楽しそうに水遊びをしていました。子ども達がのびのび育つ、なんと素敵な環境です。

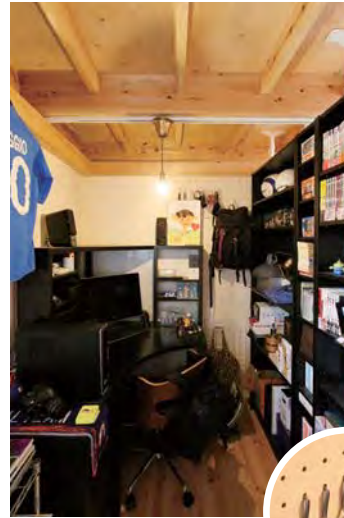






## 自分好みにDIY!

室内には、H様が自身で手を加えた場所がたくさんあります。一つの空間を本棚とボードで仕切ってつくられたご主人の個室。そして家を建てた後にご主人が取り付けたという玄関の靴棚。木部の味のある濃い色合いは焼き仕上げで実現。



ボードの穴にフックを掛けて、バッグや小物をお洒落に壁掛けできるようになっていました。とても便利な工夫!

## 3

### 暮らしをアレンジ



### 可愛く飾る子ども部屋

女の子らしいカラフルな装飾の、仲よし姉妹の部屋。壁には写真や2人が描いた絵が飾られていてとてもにぎやかな空間でした。H様のお住まいは、家族の成長に合わせて、家具や壁で仕切る事もできる木造ドミノ住宅の家。「これから子ども達とどんな部屋にしていこうか、悩めるのもまた楽しみです」と笑顔の奥様。

## お気に入り雑貨

照明や食器・小物など、家の中には眺めているだけで気持ちが明るくなるような素敵な雑貨がいっぱいありました。お気に入りのものが身近にあることで、より一層暮らしが楽しくなりますね!



## 取材後記

最近は珈琲ドリッパーが趣味というご主人。先日の「つむじ市」では、TSUMUJI COFFEEとして、AIBAスタッフの新一と一緒に珈琲屋台の出店をして下さいました!家を建てた後も、こうしたお付き合いをして頂けるのは本当に嬉しいことです。明るい笑顔が素敵なH様ご家族でした。(記:広報 吉川)



設計・施工: 相羽建設

撮影取材: 伊藤・吉川

ainoha/バックナンバーはこちら→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>





### 3 暮らしの工夫



1: 3帖ほどの畳の小上がりスペース。2: 将来家具で仕切る予定の子ども部屋。3: キッチン横のスタディースペース。4: 天窓のある洗面室。



壁に黒板塗料を塗ったお絵かきスペース

子ども部屋から見える西武園ゆうえんちの花火



#### ▲ 住まいのこだわり

キッチンを中心に、玄関、リビング、洗面室、スタディースペース・・・と、つながる回遊性のある間取になっています。キッチンや小上がりは仕切り戸もついているので急な来客時にも安心。また、天窓や大きめの窓があることで、外からの光が家の中を明るくしてくれます。

### 庭でつながる 庭で楽しむ

庭仕事が好きなお様は、植物のお手入れや家の周りにバラを育てて楽しまれています。塀が無いおかげで、ご近所さん同士がお互いの庭を借景として自分の家から楽しめるのも嬉しいポイント。また、薪情報が手に入ると、ご主人自ら車で調達し庭で薪割もします。

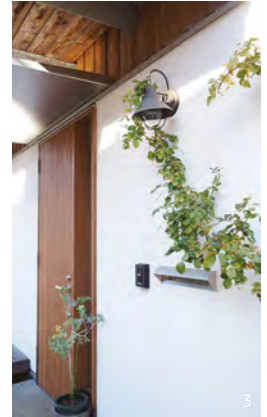


玄関アプローチを彩る美しいバラの花



薪割機で薪を割るご主人

1: 玄関土間スペース。よく見ると小さなタイルも埋め込まれています。2: 家同士をつなぐゆったりとした庭。3: 玄関アプローチ。



#### 取材後記

ぐっと冷え込むこの時期だからこそ、薪ストーブやOMソーラーの暖かさにホッとします。お子様たちが絨毯の上でごろごろ遊んでいたりと、ホットケーキをつくっている様子になごみました。そしてホットケーキとシチューまでご馳走になってしまったり(薪ストーブでつくるとこれがまた格別なのです!) 幸せなひと時を過ごさせていただきました。(記: 広報 吉川)



設計: スネヤアキラ建築設計室(強谷 陽) <http://ai-labo.info/member/suneya.html>

施工: 相羽建設 / 撮影取材・編集: 伊藤・吉川

ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>

